



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2014年(平成26年)5月15日号 No.1627

目次

■ ロシア工業団地協会セミナー	1
■ モスクワほっとニュース	8
クリミア産品を買おう／8	
■ 統計速報	9
2014年1～3月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／9	
2014年1～3月の日ロ貿易／10	
■ トピックス	11
日立建機がロシア極東鉱山向けショベル受注／11	
2014年の日ロ政府間漁獲交渉妥結／11	

ロシア工業団地協会セミナー

はじめに

4月下旬、ロシア工業団地協会の代表団が訪日した。この機会を捉え、ロシアNIS貿易会は同協会と共同で、4月22日に大阪で、24日には東京で、投資セミナー「ロシアにおける工場立地 ―その可能性と課題」をそれぞれ開催した。今回の速報では、同セミナーの概要を紹介する。

ロシアでは近年、外資系自動車メーカーの進出に続く形で、自動車部品メーカーの進出、さらには、工作機械、消費財などの工場建設が相次いでいる。そしてそれらの工場の多くは経済特区および工業団地に建設され、今日、ロシアへ進出する日本企業にとってこれらの拠点の重要性が高まっている。

今回のセミナーでは、ロシア工業団地協会の事務局とその会員企業の代表者で構成された代表団が、ロシアの工業団地の現状や各工業団地で工場を建設する際のメリットなどを語った。また、エンジニアリング会社からも代表者が参加しており、工場建設から生産開始までがどのようなプロセスを経て行われるかについて語られた。

ロシアの工業団地という限られた分野をテーマにしていたことや最近のウクライナ情勢を受けて、セミナーはどのようになるのか憂慮もされたが、いざ当日になってみると、参加者の中にはロシアへの進出について積極的に検討している方もおり、質疑応答ではかなり具体的な質問が出されていた。また、講演後の名刺交換では日ロ双方の参加者が積極的に交流を行っており、セミナーは非常に活気に満ちていた。